

科目名	コンサートプロダクト4							年度	2025
英語科目名	Concert Product 4							学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサート制作コース 2年次	必／選	選	時間数	270	単位数	9	種別※	実習
担当教員	大関 拓	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロデューサー・シンガー ソングライター		
【科目の目的】 実践的な実習を通して、コンサート制作スタッフとしてそれぞれの役割を理解し、組織の中で機能できる能力を持つことを目的とする。外部会場でのプロの現場と同様の実習ライブを通じて、コンサートの企画やアーティストのブッキング、宣伝プランの作り方や運営方法、マーケティングを実践することで制作スタッフとしての基礎的なスキルとコミュニケーションを身につける。									
【科目の概要】 ＜コンサート制作コース＞ 市場調査、ヒットチャート研究などマーケティングを行い、アーティストやジャンルによる客層を把握して、効率的なプロモーション方法を研究します。									
【到達目標】 2年次は、スキルアップを図るため外部のコンサート会場を使用した本番実習を行う。各公演では現存のチケット流通やメディアに向けて情報を発信し限りなくコンサート・イベントの現場に近い環境下で実習を行う。コミュニケーション能力が高く、自ら考えて行動しエンタテインメント業界で活躍できる人材となる事を目標とする。									
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。あとは分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消する事。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	実践的な実習を通して、コンサート制作スタッフとしてそれぞれの役割を理解し、組織の中で機能できる能力を持つことを目的とする。外部会場でのプロの現場と同様の実習ライブを通じて、コンサートの企画やアーティストのブッキング、宣伝プランの作り方や運営方法、マーケティングを実践することで制作スタッフとしての基礎的なスキルとコミュニケーションを身につける。		運営プランニングを理解し、策定できる				運営プランニングの理解が乏しい		
到達目標 B	各種運営書類作成を理解し、的確に作成できる		各種運営書類作成を理解し、作成できる				各種運営書類作成の理解が乏しい		
到達目標 C	外部会場でのコンサートを実施計画通りにチームで協力し、運営進行を行える		外部会場でのコンサートを実施計画通りに運営進行を行える				外部会場でのコンサートの運営進行対応ができない		
到達目標 D	コンサート制作の5つの管理を理解し、説明できる		コンサート制作の5つの管理を理解できる				コンサート制作の5つの管理の理解が乏しい		
到達目標 E	外部会場の施設構造を理解し、説明できる		外部会場の施設構造を理解できる				外部会場の施設構造の理解が乏しい		
【教科書】 随時、資料等配布									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 ＊積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 ＊授業内容の理解度を確認するために実施する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

